

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2005年8月30日

2005年8月21日、28日現在

8月21日に終わる週には各地で多少の降雨があり、気温は多少平年より低目であった。土壌水分は多少改善した。冬小麦の収穫は例年より1週間以上早く最終段階となり全州の97%にて完了した。春小麦の収穫も例年より早く進捗し、全州の50%にて完了した。8月28日に終わる週ではNE地区では全く降雨が記録されなかったが、他の地区では0.5インチ未満の降水量を記録した。最高気温は各地で90度以上となった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.2日（前週：5.7日）であった。Topsoil並びにSubsoilの水分は、前週より多少落ちた。冬小麦の収穫は全州にて完了した。春小麦の収穫は71%にて完了した。Durum小麦の収穫は51%にて完了、昨年及び5年平均より早い進捗であった。冬小麦、春小麦共に平年より良い作柄であった。

USDA発表8月1日付け冬小麦生産量予想では、単位収量は7月1日付け予想より2.0 bu/acの増、45.0 bushels/acreとなり、昨年実績を4.0 bu/acre上回る予想となった。春小麦(HRS)の生産量予想詳細は、7月1日予想より2.0 bu/acre少ない33.0 bu/ac（昨年実績：31.0 bu/ac）となった。Durumはこの単位収量予想も7月1日予想より減少し、30.0 bu/acre（昨年実績：33.0 bu/acre）であった。7月に入っての高温・乾燥が開花直後の春小麦の単収を下げる結果となった。詳細は別表の通り。

土壌水分：2005年8月28日現在

Topsoil

	This Week	Last Week	Last Year	5-yr. Ave.
Very short (%)	26	22	22	50
Short (%)	43	45	34	30
Adequate (%)	31	32	39	18
Surplus (%)	0	1	5	2

Subsoil

Very short (%)	25	23	36	54
Short (%)	46	46	39	33
Adequate (%)	29	31	24	13
Surplus (%)	0	0	1	0

小麦生育状況：8月28日現在

次ページへ：

	This Week	Last Week	Last Year	5-yr Ave.
Winter Wheat Harvested(%)	100	97	89	99
Spring Wheat Harvested(%)	71	50	46	63
Durum Wheat Turning (%)	94	87	70	NA
Harvested(%)	51	37	12	20

春小麦作柄状況：8月21現在：(最終)

Conditions	This Week	Last Week	Last Year	5-year Ave
Very poor (%)	2	21	7	12
Poor (%)	5	5	15	20
Fair (%)	20	16	29	27
Good (%)	54	58	39	27
Excellent (%)	19	19	10	8

Source: Montana Agricultural Statistics Service

8月1日付けUSDA発表の冬小麦生産量予想：

State	Harvested Area		Yield			Production	
	1,000 acres		Bushels/acre			1,000 bushels	
			2005				
Crop	2004	2005	2004	July 1	Aug 1	2004	2005
MT	1,630	2,050	41.0	43.0	45.0	66,830	92,250
USA	34,462	34,271	43.5	44.5	44.4	1,499,434	1,520,848

8月1日付けUSDA発表HRS及びDurum小麦生産量予想：

Class	Area Harvested		Yield			Production	
	1,000 acres		Bushels/acre			1,000 bushels	
			2005				
	2004	2005	2004	July 1	Aug 1	2004	2005
HRS	2,850	2,500	31.0	35.0	33.0	88,350	82,500
Durum	545	560	33.0	32.0	30.0	17,985	16,800

当該作柄と気象報告に関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>